



セイカ株式会社



製造業
(化学工業製品)

化学中間物や工業薬品の研究開発及び製造・販売を行う化学メーカー。ポリイミド樹脂などの原料として使われる「芳香族ジアミン」の製造で世界的シェアを誇り、スマートフォンや半導体等生活に欠くことのできない様々な製品づくりの一翼を担っている。

事業者概要 (2023年3月現在)
代表者 代表取締役社長 竹田 純久
所在地 和歌山県和歌山市南汀丁8番地
電話番号 073-433-2191
従業員数 265名
主な事業内容 高機能性ポリマー原料、エポキシ・ウレタン硬化剤、各種中間物・工業薬品の研究・開発及び製造・販売
URL <https://waseika.com/>

取組の背景

- 「安全・健康・環境を最優先する」という行動指針のもと、創業当初から高い環境意識で様々な活動に取り組んでいた。
- 取引先企業のサプライヤーとして脱炭素経営への意識が、いっそう高まり、経営層の方針から「安全・環境室」を新設し、活動体制を強化。

化学工業 # サプライチェーン排出量 # 廃水処理 # リサイクル

取組の内容

様々な環境活動

- **植樹活動「セイカの森」**
2006年から、社会貢献活動の一環で和歌山県日高川町の山林で実施。活動は年1~2回で、社員やその家族の「交流・憩いの場」となっている。
- **セイカソーラー発電所の設置**
2013年に大規模な太陽光発電設備をPPA方式で敷地内に設置 (2MW、年間280万kWh)。
- **ボイラーの燃料転換**
2014年に、ボイラー設備の燃料を重油からLNGへ変更 (7tボイラを5基設置)。

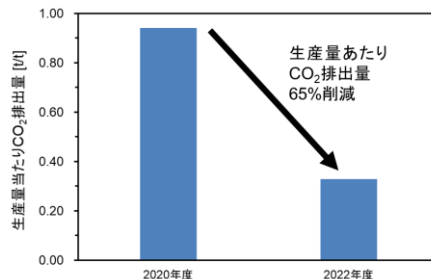


和歌山工場に設置しているセイカソーラー発電所

重要課題 (電気や廃水処理) の取組

- **サプライチェーン排出量を算定し、結果をもとに以下の取り組みを実施。**
 - **電力関連**
高効率機器の導入 (冷凍機等) やLED照明への変更のほか、購入電力の50%を再エネ由来電力へ切り替え。
 - **廃水処理の改善**
廃水のランク付けを行い、ランクごとに適切に処理。特に、**焼却処理から生物処理への転換**によりGHG排出量を削減。

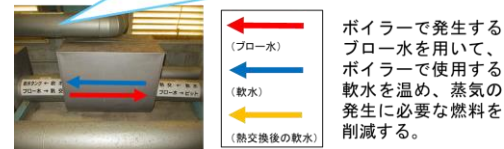
電力では生産量あたりCO2排出量65%を削減したほか、**廃水処理でもCO2排出量60%を削減** (2020年度比)



再エネ電力の導入により、排出量の削減に成功

さらなる脱炭素化に向けて

- **省エネ診断**
主力2工場 (和歌山・海南) で受診。電気・熱についてさらなる**省エネ対策が可能な箇所の抽出**および現状把握を行った。
 - ✓ 改善案 (排熱回収、設備の運転条件の見直し等) を受け、**2030年CO₂排出量削減目標**および**ロードマップの策定**を検討。
 - ✓ 今後は廃棄物・廃水の総量削減やリサイクル率向上の他、**排熱回収の強化**や**低炭素エネルギーへの転換**に注力し、サプライチェーン排出量削減を目指す。



和歌山工場で実施しているブロー水を用いた熱交換